



平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 物語コーポレーション

コード番号 3097 URL <http://www.monogatari.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・COO (氏名) 加治 幸夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員・CFO (氏名) 高津 徹也

財務・成長戦略担当 副社長

TEL 0532-63-8001

四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	24,603	—	1,310	—	1,640	—	804	—
26年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年6月期第3四半期 793百万円 (—%) 26年6月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	134.24	—	133.69	—
26年6月期第3四半期	—	—	—	—

(注) 平成27年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年6月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
27年6月期第3四半期	18,221	—	10,054	—	55.1	—	1,676.09	
26年6月期	—	—	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 10,047百万円 26年6月期 一百万円

(注) 平成27年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年6月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	15.00	—	20.00	35.00
27年6月期	—	25.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	32,675	—	2,350	—	2,500	—	1,386	—	231.63	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期3Q	5,995,482 株	26年6月期	5,990,082 株
② 期末自己株式数	27年6月期3Q	784 株	26年6月期	748 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期3Q	5,991,459 株	26年6月期3Q	5,369,535 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成27年5月12日(火)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前第3四半期連結累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀の経済・金融政策により企業収益と雇用情勢が改善へと繋がり、緩やかな景気回復の動きが見られるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の長期化や円安に伴う物価上昇懸念などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、円安等による原材料価格の上昇、店舗運営における人材確保の深刻化など、依然として厳しい経営環境で推移いたしました。

このような環境の中で当社は、今後の持続的な成長の実現を支える経営基盤を築くために、経営理念「Smile&Sexy」のもと、役職員1人ひとりが社内組織に埋没することなく、また、新たな商品・業態・事業の開発と育成に果敢にチャレンジし、時代の変化に対応する事のみならず、時代の変化を創り出す会社づくりを目指し、以下の2つの項目を底上げするための施策に取り組んで参りました。

- ①お客様が持つ期待感の遙か上をいく「顧客価値」を常に創造するために業態開発、業態改善を絶え間なく続ける「開発力」
- ②ホスピタリティ溢れ、お客様のニーズを先読みして行動できるプロフェッショナル性が高く、個性を發揮できる「人財力」

その上で、既存顧客の満足度向上や新たな顧客創造のために、各業態における品質・サービスレベルの向上、新メニュー開発、積極的な販売促進活動などの施策に取り組み、各既存業態のブランド力向上に努めて参りました。

店舗展開につきましては、当第3四半期連結累計期間中に『焼肉きんぐ』において、14店舗の新規出店（直営店10店、フランチャイズ店4店）と4店舗の改装（直営店3店、フランチャイズ店1店）、新業態の『熟成焼肉 肉源』において、1店舗の新規出店（直営店1店）、『丸源ラーメン』において、3店舗の新規出店（直営店1店、フランチャイズ店2店）、『二代目丸源』において、1店舗の閉店（直営店1店）、お好み焼本舗において、2店舗の新規出店（直営店2店）と2店舗の閉店（フランチャイズ店2店）、『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』において、5店舗の新規出店（直営店5店）、連結子会社が営業している『鍋源』において、2店舗の新規出店（直営店2店）をそれぞれ実施しました。これにより当第3四半期連結会計期間末における当社チェーン全業態の店舗数は322店舗（直営店168店舗、フランチャイズ店154店舗）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高24,603,324千円、営業利益1,310,279千円、経常利益1,640,388千円、四半期純利益804,288千円となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況については、当社の事業は単一セグメントでありますので、その概況を部門別に示すと次のとおりであります。

焼肉部門におきましては、売上高14,336,146千円となりました。

ラーメン部門におきましては、売上高3,381,533千円となりました。

お好み焼部門におきましては、売上高1,836,210千円となりました。

専門店部門におきましては、売上高2,566,008千円となりました。

その他部門におきましては、売上高556,471千円となりました。

フランチャイズ部門におきましては、売上高1,926,953千円となりました。

なお、連結子会社が営業している飲食店舗については、その他部門に含めております。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は18,221,292千円となりました。主な内訳は、現金及び預金4,118,259千円、有形固定資産9,584,670千円、差入保証金2,397,668千円であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は8,166,577千円となりました。主な内訳は、買掛金1,366,081千円、長期借入金2,177,124千円であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は10,054,714千円となりました。主な内訳は、利益剰余金4,788,641千円であり、自己資本比率は55.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の通期の業績予想につきましては、平成26年11月4日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、重要性が増したことに伴い、物語香港有限公司及び物語（上海）企業管理有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が55,694千円減少し、利益剰余金が36,256千円増加しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	4,118,259
売掛金	578,930
商品及び製品	214,153
原材料及び貯蔵品	55,534
その他	686,680
貸倒引当金	△177
流動資産合計	5,653,380
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	7,454,769
その他(純額)	2,129,901
有形固定資産合計	9,584,670
無形固定資産	
	161,950
投資その他の資産	
差入保証金	2,397,668
その他	424,082
貸倒引当金	△461
投資その他の資産合計	2,821,290
固定資産合計	12,567,911
資産合計	18,221,292
負債の部	
流動負債	
買掛金	1,366,081
未払法人税等	210,572
株主優待引当金	33,463
賞与引当金	131,998
その他	2,960,636
流動負債合計	4,702,752
固定負債	
長期借入金	2,177,124
役員退職慰労引当金	226,050
退職給付に係る負債	218,886
資産除去債務	174,113
その他	667,651
固定負債合計	3,463,825
負債合計	8,166,577
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,698,602
資本剰余金	2,571,452
利益剰余金	4,788,641
自己株式	△1,091
株主資本合計	10,057,604
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	2,086
為替換算調整勘定	△13,095
退職給付に係る調整累計額	1,099
その他の包括利益累計額合計	△9,910
新株予約権	7,020
純資産合計	10,054,714
負債純資産合計	18,221,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)
売上高	24,603,324
売上原価	8,359,120
売上総利益	16,244,203
販売費及び一般管理費	14,933,923
営業利益	1,310,279
営業外収益	
受取利息	11,231
受取配当金	88
受取賃貸料	11,520
協賛金収入	252,886
為替差益	77,929
その他	10,949
営業外収益合計	364,605
営業外費用	
支払利息	19,424
賃貸収入原価	7,619
その他	7,452
営業外費用合計	34,496
経常利益	1,640,388
特別利益	
補助金収入	20,830
特別利益合計	20,830
特別損失	
固定資産除却損	66,351
システム開発中止に伴う損失	101,680
その他	11,335
特別損失合計	179,367
税金等調整前四半期純利益	1,481,850
法人税等	677,562
少数株主損益調整前四半期純利益	804,288
四半期純利益	804,288

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	804,288
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,033
為替換算調整勘定	△10,998
退職給付に係る調整額	△1,271
その他の包括利益合計	△11,236
四半期包括利益	793,052
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	793,052
少数株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。